



おぎゃー献金発祥の地から

「笑(すまいる)」が誕生しました！

「笑(すまいる)」は、おぎゃー献金の生みの親「遠矢善栄博士」の精神を受け継ぎ、療育・相談・遊び・交流によって伊佐市の障がい児支援を行なう場を持つ、身近な子育て支援の総合的中核施設です。

乳幼児から18歳までの子ども、妊婦や子育て中の保護者に医療・福祉・教育の分野が連携し、適切で質の高い支援を行なう、「ファミリーサポート」の場を提供します。



子どもたちの
使いやすさに
こだわっています！

主な事業 その1 総合相談事業

個別の支援が必要な親子や障がい・発達障がいをもった就学前の乳幼児から就労までの児童・生徒の継続的な相談支援の関係機関の拠点となります。そのために、保健・医療・教育・福祉の関係機関がネットワークをつくり、総合相談センターのコーディネートによる継続的なチームケアによって、子育てに関する相談支援を多角的・効率的に行います。

問い合わせ先 市福祉事務所

☎☎1311 ☎1262・1263



地域のすべての人が
笑顔になるように！

「さしいまち」を目指して

概要

所在地 伊佐市大口上町 46-1
敷地面積 1,570.39 m²
構造 木造(木材使用量: 110.72 m³)
一部軽量鉄骨プレハブ造
規模 平屋建
主要寸法 軒高 3.3 m 最高高さ 6.44 m
延床面積 528.30 m² (容積率 33.64%)
建築面積 633.36 m² (建ぺい率 40.33%)
外部仕上 屋根: コロニアル葺き (一部 FRP 防水)
外壁: 防火サイディング t = 16 張り



主な事業

その2

療育事業

療育とは、個々の発達や障がいについて、保健・福祉・教育・保育・医療などの分野における科学的根拠に基づき、成長の土台づくりを総合的に支援していく取り組みのことです。

子ども一人ひとりの力に合わせて、専門指導員や仲間との遊びなどを通して、楽しい経験を積み重ねることで、身の回りのことや、運動、ことば、社会性など全体の発達を促すことを目的としています。

問い合わせ先

伊佐市子ども発達支援センターたんぼぼ

☎ 5 5 6 6

たんぼぼの卒園誌『わたぼうし』から 保護者の手記を紹介します

“たんぼぼで学んだこと”

息子と一緒に「たんぼぼ」に通うようになって私は、「子育て」という言葉の意味を少しずつ理解してきたような気がします。

以前、息子はひと見知りか激しくお友だちが誘ってくれても私から離れて遊ばませんでした。最初は、私もそこまで気にしていませんでしたが、下の子が生まれてからもひと見知りはかわらず「このままだと息子はずっと友だちと仲良くできないかも」と悩み、「何とかして友だちと遊ばせなきゃ」と焦るようになりました。そして息子が私に甘えてきても向き合おうともしませんでした。そんなとき、たんぼぼの「療育」を勧められたのです。

最初はたんぼぼでも私から離れようとせず、不安がありました。先生方は息子に丁寧に繰り返し接して下さったり、私にも息子への接し方や良いところの伸ばし方を教えてくださいました。また、同じようにたんぼぼに通ってお母さんたちとも話すようになり、「悩んでいるのは私だけじゃないんだ」私自身も心にゆとりをもって息子と接することができるようになりました。最初は、息子を変えなきゃと思って一生懸命子育てをしていました。でも今では「子育て」というのは母と子が一緒に学び、お互いに成長していくものなんだと思います。たんぼぼで「療育」を受けることができて本当に良かったです。これからもよろしくお願いします。



「日本一子育てにや